

インマヌエル中目黒キリスト教会

2013年9月29日聖日礼拝

使徒の働き連講①⑥

「知恵と御霊によって語る」

使徒の働き 6章 8 - 15 節

竿代照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

使徒の働き 6 篇 8 – 15 節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp218~/ 第三版の聖書はp238~

- 8 さて、ステパノは恵みと力とに満ち、人々の間で、すばらしい不思議なわざとせるしを行っていた。
- 9 ところが、いわゆるリベルテンの会堂に属する人々で、クレネ人、アレキサンドリヤ人、キリキヤやアジヤから来た人々などが立ち上がって、ステパノと議論した。

- 10 しかし、彼が知恵と御霊によって語っていたので、それに対抗することができなかった。
- 11 そこで、彼らはある人々をそそのかし、「私たちは彼がモーセと神とをけがすことばを語るのを聞いた」と言わせた。
- 12 また、民衆と長老たちと律法学者たちを扇動し、彼を襲って捕らえ、議会にひっぱって行った。

- 13 そして、偽りの証人たちを立てて、
こう言わせた。「この人は、この聖なる
所と律法とに逆らうことばを語るのを
やめません。
- 14 『あのナザレ人イエスはこの聖なる所を
こわし、モーセが私たちに伝えた慣例を
変えてしまおう』と彼が言うのを、私たち
は聞きました。」
- 15 議会で席に着いていた人々はみな、
ステパノに目を注いだ。すると彼の顔は
御使いの顔のように見えた。

説教

使徒の働き連講①⑥

「知恵と御霊によって語る」

使徒の働き6章8～15節

竿代照夫 牧師



主テキスト

「しかし、彼（ステパノ）が知恵と御霊によって語っていたので、それに対抗することができなかった。」

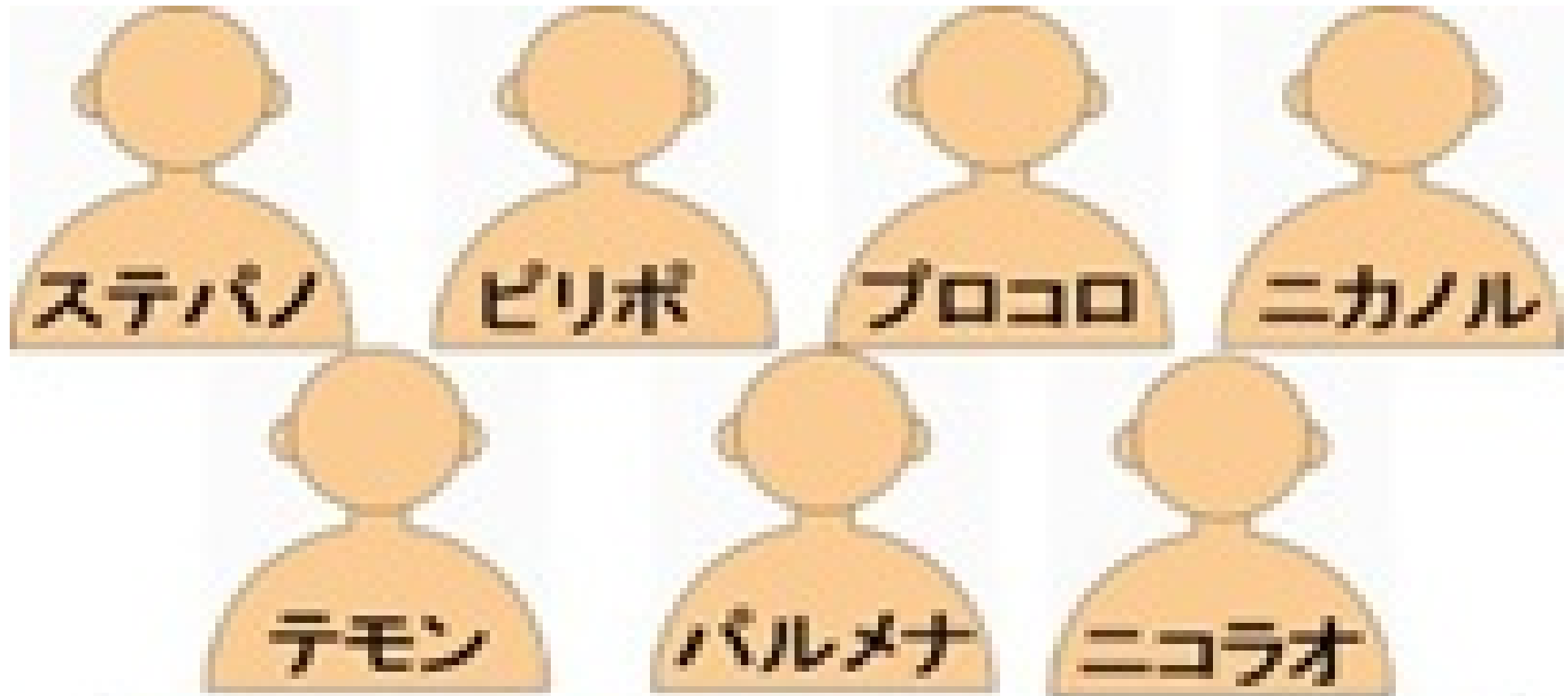
（使徒 6 : 10）

復習

- ・ 初代教会の問題：ギリシヤ語ユダヤ人とヘブル語ユダヤ人の対立（イラスト①）



- ・ 問題の解決： 7人の「執事」
(仕えるもの) の選任 (イラスト②)



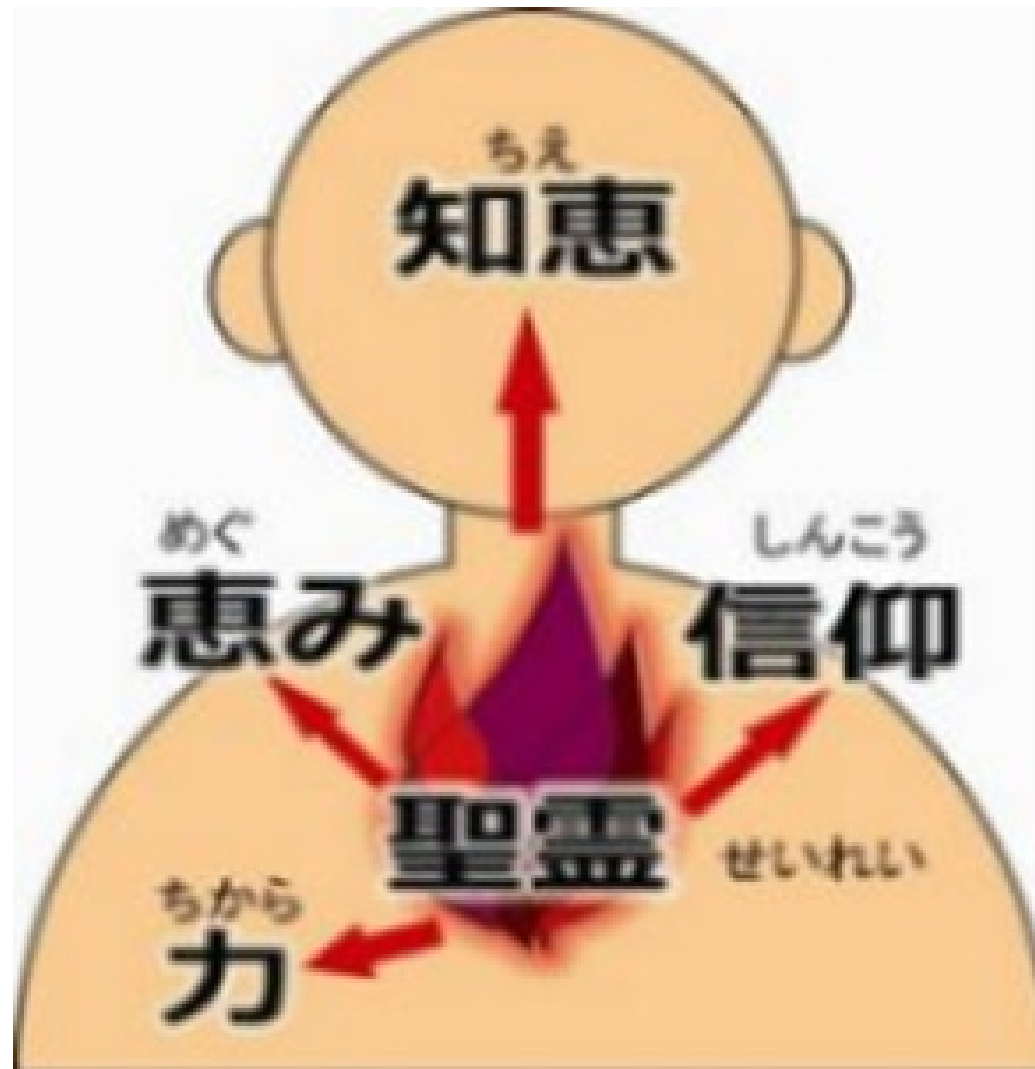
執事(奉仕をする人)

1. ステパノの登場（8節）

- ・ 名前：ステファノス = 「冠」
（イラスト③）



- ・福音に触れる：多分ペンテコステの時に
- ・執事のトップ：「知恵・信仰・恵・力、
聖霊に満ちた人」（イラスト④）



- ・大きな奇跡と徴

2. リベルテン会堂の人々との論争 (9 - 1 1 節)

- ・リベルテン会堂：奴隷から解放されたユダヤ人が建設
- ・ステパノへの反対者：クレネ、アレキサンドリヤ、キリキヤ、アジヤ出身者
(地図参照)



- ステパノへの非難：
「神殿礼拝をおろそかにする」 (? !)
- 知恵と御霊によって語るステパノ
- 反対者たちの卑怯な方法

3. サンヒドリン議会での審問 (12-15節)

- ステパノ、議会に引き出される
- ステパノへの非難
 - ①モーセの律法をないがしろにしている
 - ②神殿を壊す、と言っている

- ステパノの輝き：御使いのよう!



おわりに

知恵と御霊によって語ろう